

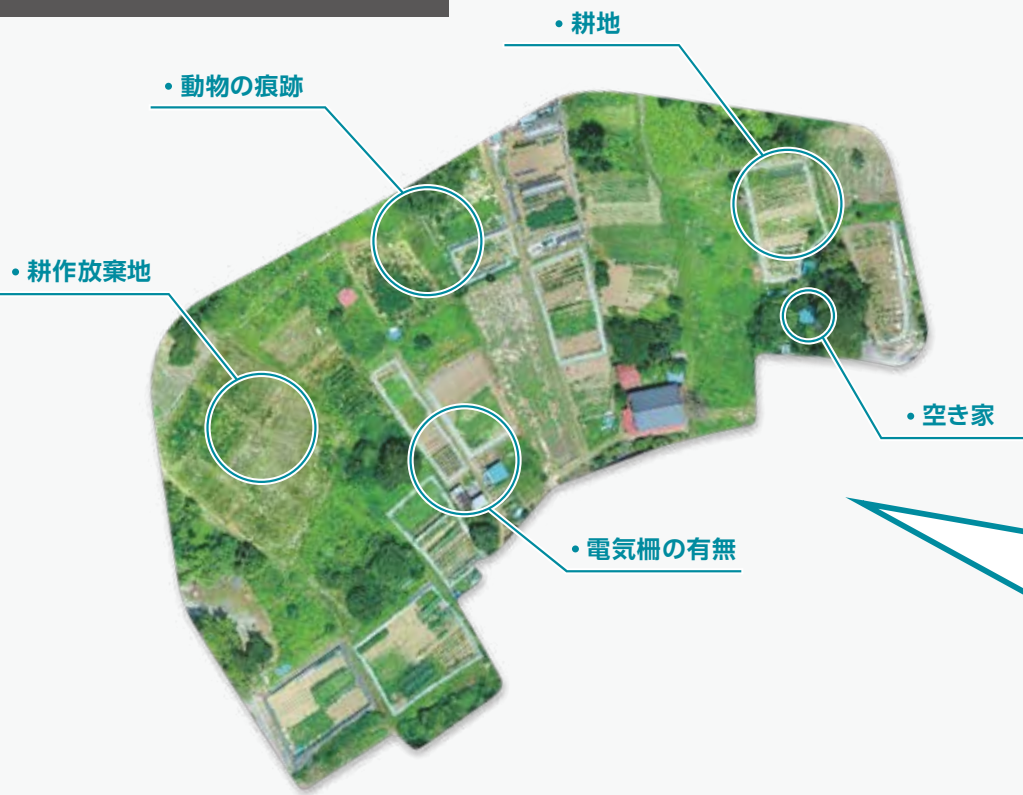
ドローンを活用した集落環境調査

オルソ画像や3Dモデルを使って、農地周辺の脆弱性や、野生動物の侵入経路を可視化

ドローンで撮影したデータを使って農地周辺の脆弱性や野生動物の侵入経路を解析・可視化することで、地域住民との合意形成をスムーズに進めることが可能となり、効率的に被害防止対策を実行できます。

解析用データ：オルソ画像

(撮影データを加工してオルソ画像を作成)



オルソ画像とは・・・？

空中写真を位置ズレのない画像に変換し、正しい位置情報を付与したもので、様々な地理空間情報と重ね合わせができることから、空中写真と比較して、より多様な利用が可能な地理空間情報になります。

引用：国土地理院



POINT

- ① 被害が集落内でどのように分布しているのか？
- ② 野生鳥獣の侵入ルートはどこが多いのか？
- ③ 野生動物から見える集落の弱点は何か？

上記の視点で、農地だけでなく林縁部から周囲の山林まで集落全体を調査します。

● 専門機関によるオルソ画像の解析

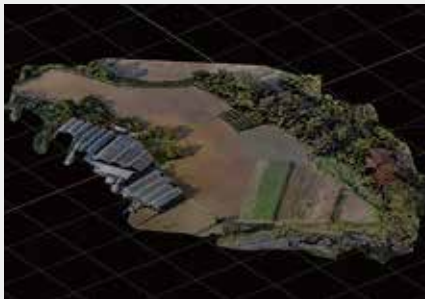
弊社が連携する専門機関によりオルソ画像を解析し、農地周辺環境の現状と対策候補箇所を可視化します。こちらを活用することで、合意形成をスムーズに進めたり、効率的な被害防止計画の実行が可能となります。



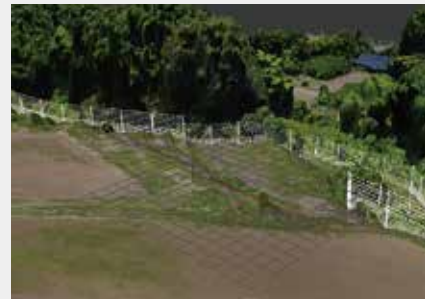
● 3Dモデルを活用し、対策後のビジョン共有が可能

農地周辺環境を3Dモデル化し、電気柵や箱罾の設置イメージをシミュレーション作成し、対策後のビジョンを共有することが可能です。

※ご希望に応じて作成いたします。



3Dベースモデル



電気柵設置シミュレーション



箱罾設置シミュレーション